

令和7年度 災害廃棄物処理担当者向け研修会 (近畿ブロック)

「大規模災害時における災害廃棄物処理対策」 ～災害廃棄物の発生量推計や公費解体等への対応～

日時：令和7年12月19日（金）14：00～16：30

場所：AP大阪駅前 Aルーム

(オンライン同時配信)

プログラム

◆主催者あいさつ (14:00～14:10)

環境省近畿地方環境事務所 資源循環課 課長 山根 正慎

◆講演1 (14:10～15:10)

◇休憩10分

◆講演2 (15:20～16:20)

◆閉会 (16:20～16:30)

講演概要

◆講演1 (14:10～15:10) (講演 50分／質疑応答 10分)

「令和6年能登半島地震における災害廃棄物処理対応について」

田丸 昌成 氏 (石川県 生活環境部 資源循環推進課 課参事)

＜講演概要＞

令和6年1月1日に石川県能登地方でM7.6の地震（最大震度7）が発生、4m以上の津波浸水高を観測し、県内に甚大な被害が発生した。本講演では、当該地震において発生した災害廃棄物の処理をどのように進めたのか、公費解体の実施手順や留意点、災害廃棄物発生量の推計方法などを中心に紹介する。また、石川県では、補助金の採択要件を満たすこと、経費の必要性や数量・単価の根拠を確認するための「災害廃棄物報告書」の作成支援として、県内の市町に対してひな型を作成、提示したことから、その経緯やひな型の内容について紹介する。

◆講演2 (15:10～16:20) (講演 50分／質疑応答 10分)

「大規模災害における災害廃棄物の処理について」

林 篤嗣 (近畿地方環境事務所 資源循環課 課長補佐)

＜講演概要＞

近畿ブロックでは、南海トラフ巨大地震の発生が予測されており、その災害廃棄物処理について喫緊に対策を講ずる必要が生じている。本講演では、特に甚大な津波被害が発生した東日本大震災での対応を中心に、大規模災害時における災害廃棄物の処理について紹介するとともに、損壊家屋等における公費解体と自費解体の対応について、環境省の各種マニュアルを引用しながら、能登半島地震での対応を中心に紹介する。

主催：環境省近畿地方環境事務所